

施工及び使用における注意事項

1. 安全対策を十分に講じて下さい。
2. 始める前に説明を注意深く読んで下さい。
3. アンカー類を設置する際は手袋、保護めがね等の保護用具を必ず使用下さい。
4. 戸口や窓の近くの作業は十分に注意して下さい。窓ガラスに近い箇所ではガラスが割れる危険性がありますのでご注意下さい。
5. 高所での作業時は特に安全対策を講じるようご注意下さい。工具類が落下すれば、下の人間や物に被害が生じる場合もあり、また作業員が落下して怪我をしたり、最悪の場合は死に至る危険性もあります。
6. 電動工具を利用する際は保護めがねと防音保護具を必ず利用し、工具の取扱説明書に従い正しくご使用下さい。
7. 塩害地域では、施工後は金具の十分な錆止め対策は重要です。台風後を含め定期的な水洗い、またスクリーンを張る度に錆止めスプレー等の防錆油の添付するようにお客様に必ず説明して下さい。
8. ハリケーン・ファブリック・スクリーンは飛来物を止めますが、危険ですので台風時は間口なるべく近づかないようにして下さい。
9. ハリケーン・ファブリック・スクリーンは第三者機関によって高風速、高風圧、対飛来物に対する厳しい検査に合格しておりますが、雨戸類と同様、窓ガラス等が絶対に破損しないという保証ではありません。
10. オスアンカー、またステンレスメスアンカー（特注）の設置は単純ですが、必ず指定の径のキリ (7/32"= 5.5-6.0mm 相当) を使用して下さい。また、下地が弱いと懸念される場合はエポキシ樹脂等を使用下さい。下穴に残る粉塵を完全に除去してからアンカーを設置して下さい。ステンレスメスアンカーの場合は頭部分のふち取りを必ず行ってください。
11. メスアンカーは、標準及び長いメスアンカーは、下穴は 7/16"(11.5 mm) の径のキリを使用して下さい。また縁取りをしないとコンクリートが割れる恐れがありますのでご注意下さい。オールアンカーと違いますので、本作業を始める前は目立たない所で打ち込みの練習をすればコツがすぐ分かります。アンカー自体は強いカーボンスチールですがステンレスではないので、周囲から水の浸入を防ぐためにモルタル、シーラント剤等を使用し隙間を完全に埋めてください。また、下地が弱いと懸念される場合はエポキシ樹脂等を使用して下さい。下穴に残る粉塵を完全に除去してからアンカーを設置して下さい。
12. 標準及び長いメスアンカーメーカーの注意：「普段はステンレスボルトをメスアンカーにはめておきますが、その場合は付属のゴム付きステンレスワッシャー（小）を必ず一緒に使う必要があります。そうしないと、時間が経つに連れて雨風の影響によって水がアンカーの内部に入り、腐食の原因となる場合があります。特に塩害の強い地域では、ボルトがこう着し外れなくなり、あるいはネジと一緒にアンカー毎が外れる原因となります。ゴム付きワッシャーを付けることによってボルトはこう着せず、アンカー内部の錆を事前に防ぐことができます。」

ゴム付きワッシャーと定期的な防錆油の添付で標準及び長いメスアンカーは問題なく長期的に使用できます。ところで台風の際にこのゴム付きワッシャー（小）を外さないと、スクリーンの振動によってゴムが潰れることがあります。その場合は早めに交換してください。また、ゴム付きワッシャー（大、別売品）は台風で潰れず長期的に利用できますので、メンテは簡単になります。また、一般のゴムワッシャーも使用できます。